

Age is an independent predictor in pathological diagnosis of sarcoidosis: a retrospective analysis of diagnosis by endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: English 出版者: 公開日: 2020-07-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鍬崎, 恵里子 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002696 |

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2476 号

Age is an independent predictor in pathological diagnosis of sarcoidosis: a retrospective analysis of diagnosis by endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration

超音波気管支鏡ガイド下生検によるサルコイドーシスの診断において年齢は独立した予測因子となる：後方視的研究

鍛崎 恵里子（くわさきえりこ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、超音波気管支鏡ガイド下生検（Endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration；EBUS-TBNA）によるサルコイドーシスの診断において年齢は独立した予測因子となることを初めて示唆した、臨床的に意義ある論文である。

EBUS-TBNA は、肺門および縦隔リンパ節腫大を伴うサルコイドーシスの診断の主要な手段となっている。これまで、いくつかの研究で EBUS-TBNA によるサルコイドーシスの診断の予測因子は検証されているが、結果は一貫性がなく、予測因子は未だに明らかでない。さらに、これらの研究では、年齢は予測因子として評価されていなかった。

本研究では、EBUS-TBNA によりサルコイドーシスの診断となるための予測因子を多変量解析した結果、年齢は EBUS-TBNA によるサルコイドーシスの診断と有意に関係しており、年齢が低いほどサルコイドーシスの診断に至る結果であった。この結果は、サルコイドーシスの診断においては年齢に応じて診断手段を選ぶべきことを示唆しており、臨床的に意義がある。